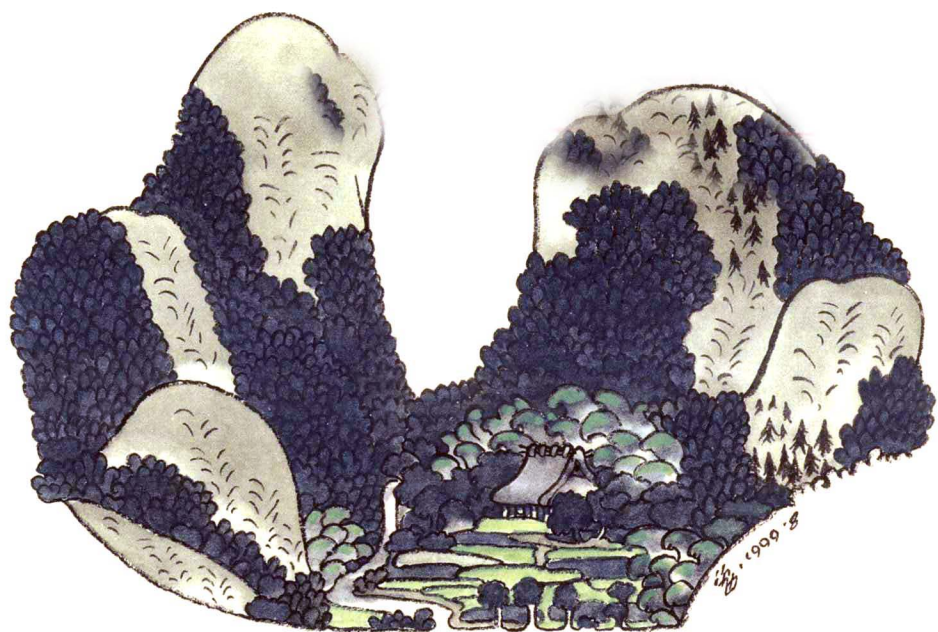


かちかちやま

水谷章三●文 村上勉●絵



ワンダー民話館



ワンダー民話館 かちかちやま

二〇〇五年十一月一日 初版第一刷発行

文 水谷章三 絵 村上 勉

発行人 小林公成

発行 株式会社世界文化社

東京都千代田区九段北四二二二九

〒一〇二一八一八七

電話〇三(三三六二)五一一五(販売本部)

〇三(三三六二)五二二一(編集部)

印刷 共同印刷株式会社

製本 株式会社大観社

禁無断転載・複写

©Shōzō Mizutani, Tsutomu Murakami

2005 Printed in Japan

ISBN4-418-05834-6

紙で手を切ることがあります。

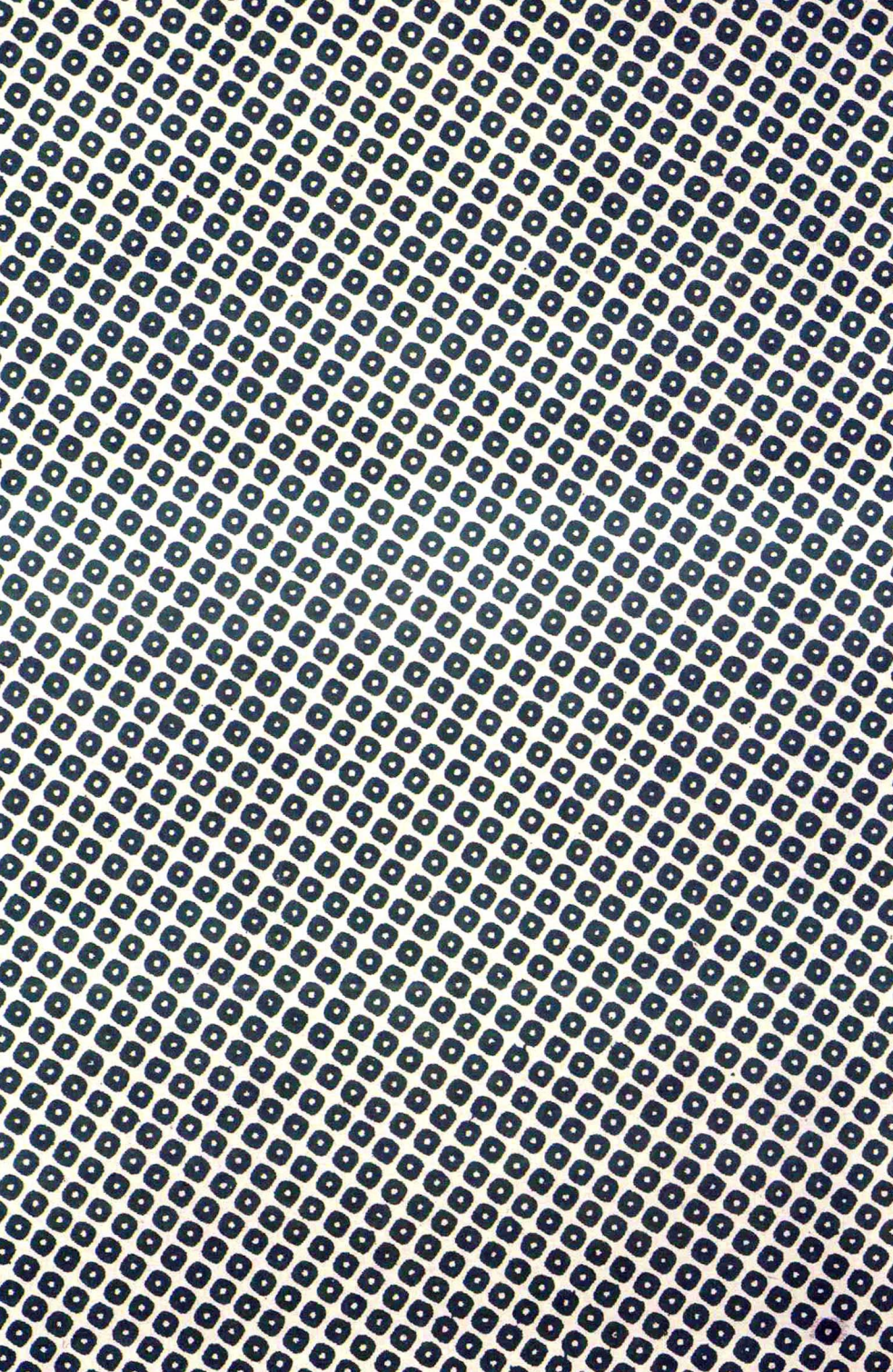
絵本の扱いには十分ご注意ください。

かちかちやま

水谷章三 ● 文 村上勉 ● 絵

江苏工业学院图书馆
藏书章





文●水谷章三 絵●村上 勉

かちかちやま





んと むかし。

ある ところに、 じいさまと ばあさまが

すんで いました。

じいさまは まいにち やまの はたけで

はたらいて いました。

ところが、わるい たぬきが はたけを あらしに

くるように なりました。

ひとつぶは せんつぶに なあれ

ふたつぶは まんつぶに なあれ

と じいさまが たねを まいて いると、

たぬきが ひよこんと あらわれました。





た

ぬきは、じいさまを
からかいました。

ひとつぶは ひとつぶの まんまよ
ふたつぶは ふたつぶの まんまよ
きたかぜ ふいて すっからかん



「うーん、もう かんべん
じいさまは、えいっとばかり
たぬきを つかまえました。」



た

ぬきは、なわで ぐるぐるまきに されて、
ぶらさげられました。

「こんやは たぬきじるの ごちそうじゃ。

なあ、ばあさまや」

そう いって、じいさまは また やまへ

でかけて いきました。



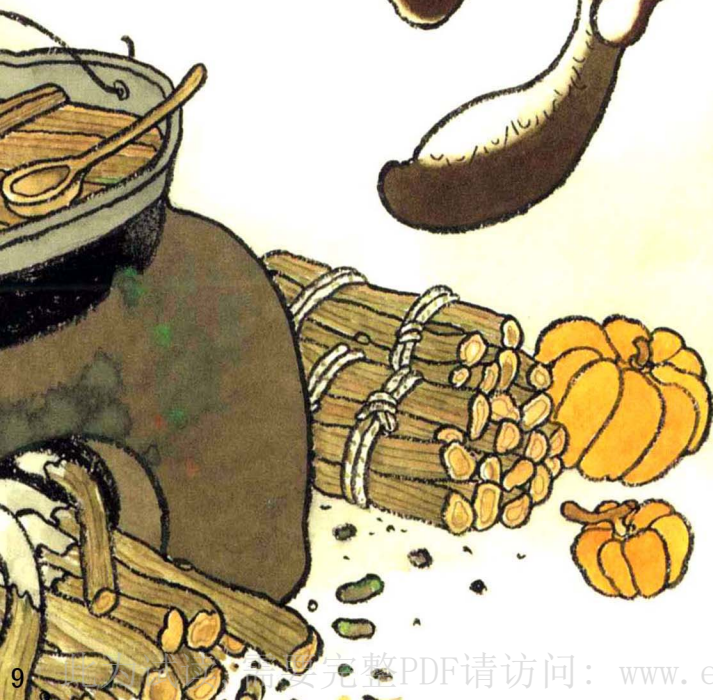
ばあさまが、うすで むぎを
つきはじめた ときでした。

たぬきが なさけない こえで いいました。

「ばあさまよお、おろして くれよお。

おら、なんでも てつだいするで」

「だめだ だめだ、じいさまに しかられる」



「おろして くれえ、おろして くれえ」
なんかいも なんかいも
なきながら いう もので、
それなら ちつとだけ、と ばあさまは
なわを ほどいて やりました。
その とたん、たぬきは いきなり
ばあさまに きねを たたきつけて、
にげて しまいました。





じ

いさまが やまから
もどって みると、

ばあさまは しんで いました。

「おお おお、ばあさまが
かわいそうじゃ」

じいさまは こえを あげて
なきました。



ないて いる ところへ、

うさぎが ひよっこり やって きました。

「じいさま じいさま、なんで なく」

じいさまから わけを きくと、 うさぎは

「よおしつ、わるい たぬきめ」

と かけだして いきました。



「た

きぎひろいに いこう」

うさぎは たぬきを さそいました。

よくばりな たぬきは、こしの ぬけるほど
たきぎを ひろって かつぎました。

その ときです。

うさぎは そつと たぬきの うしろに まわって、

ひうちいしを ならしました。

かちっ かちっ かちっ。

「なんと うさぎどん。

かちかち いうのは なんだべな」

「かちかちやまが なったのさ」



